

トピック①

クエン酸 単独で市場規模は20億円へ

現代人に不足しがちなクエン酸

摂取した食物を体内で熱エネルギー化する燃焼システム、クレブスサイクル。この循環を促進するのが糖やレモンの酸味成分クエン酸だ。このクエン酸の健康効果について今年2月3日「あるある」の大手製薬「放送」現代人の7割にクエン酸が不足していることが報告され、慢性疲労の真原因ともその原因が明らかになった。放送後、クエン酸は注目を集めた。通常の1・5倍を記録したクエン酸メーカーもあり、市場は盛り上がった。これによりブームのもつみ酢への添加やドリンクを除いた、クエン酸単独商品の市場規模は未発表ペースで今年20億円強が見込まれる。普及を促進するクエン酸市場の状況を報告する。

慢性疲労は生成不足が引き金に

2月3日「あるある」の大手製薬「放送」が発表した「クエン酸」では、現代人にこの不足が急増していることが街頭調査で明らかとなった。クエン酸はもともと体内にある成分だが、激しい運動をすることで失われてしまう。しかし、激しい運動をしなくても、現代人の多くにクエン酸が不足していた。同番組の調査では20人中不足気味は10人という結果に。現代人はストレスや運動不足、不規則な生活

「現代人にとって不足がちで補給が必要なクエン酸は、疲労回復、タイエットから糖原まで、幅広い機能性を見せる。一般的には疲労回復との関係が主として認知が高

い。この代謝システム、クレブスサイクル(A-T-C回路)は1954年にクレブス博士により発見された。このサイクルは摂取した食物をクエン酸を使って、エネルギーと水に変換する体内システム。この経路がスムーズに動かないと体の中に酸が溜まり、これが水素と結びついて疲労物質の乳酸となる。このサイクルを長く続けると、乳酸を長く貯めると、乳酸がクエン酸で、ビタミンB群と、ビタミンCの両方

時間取りが良いことが分かる。また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

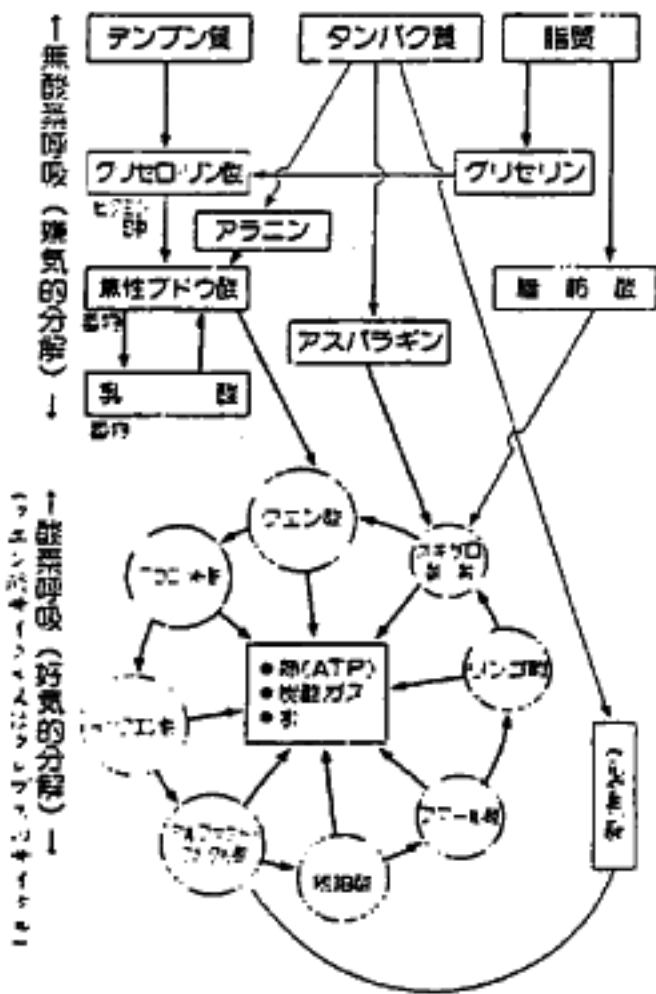
実際に糖尿病患者がクエン酸を飲むと、血糖値の上昇が停止したこと。

飲み続けることで1年でヘモグロビンA1Cが7・8から5・5へ下がったという。

また飲んでいるとホルモンの動きが良くなり、インスリンが活性化することから、医師が患者から相談されたとき、その飲用を止めないという人が、驚かされた。

また疲労回復のほか、糖尿病への作用が期待できる。

クレブスサイクル



好気的呼吸 (好気的呼吸) - 酸素を必要とする呼吸

無酸素呼吸 (嫌気的呼吸) - 酸素を必要としない呼吸

古くは明治時代から製造したクエン酸商品の販売を行っていたクエン酸ジャパン(東京都中央区、03-5622-0100)は、「クエン酸サイクル飲料」カートンの新商品を発売したばかり。

同社は「クエン酸サイクル」の商標を取得。テレビ放送では売り上げが1・5倍に跳ね上がったという同社は、「コンビニ展開も開始し年間5億円から倍増を目指す。主な販路はスーパー、ドラッグ、スポーツクラブ。

「クエン酸飲料」のお試しサイズを出した、オカタGAJ(東京都調布市、0424-443・2200)。通常の販路は通販がメインだが、通販のカタログショップに置いて新規の顧客獲得を狙ったもの。商品は年1000万円。

原料製造から末端販売の販売までを一貫して行う、つかね酢本舗(東京都中野区、03-33953089)。「甘味から作られるクエン酸」が売れ、「シリーズで年間12億円を誇る。販路は高層階への直販一本で一番の売れ筋は「つかね酢」だ。1カ月20万袋、5〜6月が販売されるほどの定番商品。10袋500円という価格もこれに魅力を付けている。昨年は「つかね酢」に健康食品を加えた「つかね酢バランス」もステイックタイプにリニューアル。クエン酸含

